*2019 年 2 月 8 日(第 3 版)
2017 年 6 月 1 日(第 2 版)

認証番号：228AIBZX00024000

器 12　理学診療用器具
管理医療機器　下肢向け温浴療法用装置　（コード：10182000）

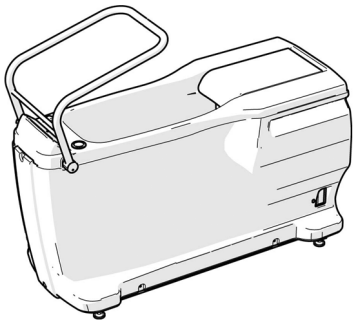
特定保守管理医療機器

ワールプール（下肢用）

【警告】
・適用対象（患者）
医師が不適当と判断した方には使用しない。[本製品は医療機器です。医師の診断のもとに使用してください。]

【禁忌・禁止】
・適用対象
以下の症状を示す人、又は診断を受けた人への使用はやめて下さい。
1) 本機は下肢向け温浴療法用装置である。他の目的には使用しないこと。
2) 体重が 100kg を超える患者には使用しないこと。
3) 次のような人には使用しないこと。
①心臓疾患、感染症、悪性腫瘍、有熱者、結核性疾患、血圧異常、急性疾患、極度の衰弱時、妊婦、アトピーなどによる知覚・皮膚過敏症、幼児、または意思表示ができない人
②その他医師が不適当とみなした人

【形状、構造及び原理等】
1. 形状及び寸法
各部の名称の詳細については取扱説明書を参照して下さい。



*長さ 1285×幅 570×高さ 1040 ㎜

2. 電気的定格
単相 100Ｖ　50Hz/60Hz

3. 機器の分類
電源に対する保護の形式による分類：クラス I の ME 機器
電源に対する保護の程度による装着部の分類：B 型装着部

4. 動作原理
内蔵された水ポンプにより、浴槽内の湯を座面下にある吸込口より吸入し、浴槽内 5 か所のノズルより噴流を発生させる。

【使用目的又は効果】
温熱効果及びマッサージ効果

【使用方法等】
＜設置場所＞
*・環境条件（周囲温度 10℃~35℃、相対湿度 30~95%、気圧 700~1060hPa）を満たし、構造的にしっかりした場所に設置すること。
<次のような場所は避けること>
・高温･多湿な環境、場所
・浴室のように水がかかったり蒸気の立ち上るような多湿や高温な場所

1 使用前準備
1) 電源プラグをアース付コンセントに接続する。
2) 電源スイッチを ON にする。操作部のデジタル表示が点灯することを確認する。
3) 排水栓が閉じていることを確認する。排水栓が開いている場合は、排水栓ボタンを押して閉じる。
4) ホースホルダーにホースを配置し、給湯の準備をする。
5) 給湯設備等（今回申請対象外：以下同じ）からホースを通じて給湯する。その際､給湯設備等の温度調整を行っておく。
6) 湯を槽内の基準線まで注入する。
7) 患者にあわせて、ノズルターナーを使用してノズルの向きを調整する。また、エアー調節ノブで噴流の気泡量を調節する。
8) 必要に応じて、リハステップ台をワールプール本体側面の床に配置し、リハステップ固定板で固定する。

2.使用中の操作
1) 操作部で時間及び温度を設定する。
○槽内湯温の設定：
操作部の「＋スイッチ」と「－スイッチ」を同時に長押しすると「槽内湯温表示」が点滅する。点滅した状態で「＋スイッチ」又は「－スイッチ」を押し温度を設定する。「治療開始/終了スイッチ」を押すと点滅が点灯に変わり設定が完了する。
○治療時間の設定：
操作部の「＋スイッチ」と「治療開始/終了スイッチ」を同時に長押しすると「時間表示」が点滅する。点滅した状態で「＋スイッチ」又は「－スイッチ」を押し治療時間を設定する。「治療開始/終了スイッチ」を押すと点滅が点灯に変わり設定が完了する。
2) 患者を槽内に配置する。槽内に立たせて治療を行う場合は、手すりを把持した状態で槽内に立たせた状態にする。座って治療を行う場合は、座面に着座させる。
3) 操作部の「治療開始／終了スイッチ」を押すと、治療ランプが点灯しノズルから噴流が開始する。
4) 操作部の「治療開始／終了スイッチ」を再度押すと噴流が停止する。
5) 一旦治療を中断する場合は、湯の温度が低下しないよう、必要に応じて保温マットを設置する。

3. 使用後の処置
1) 治療が終了したら患者を退出させる。
2) 排水栓を開け、使用した湯を完全に排出する。
3) やわらかい布などで汚れを拭清した後、十分に乾燥させる。

取扱説明書を必ずご参照ください。

TB04-026B

【使用上の注意】

1. 警告

1) 浴槽縁に横から荷重をかけない、寄り掛からない。[転倒する恐れがあります。]

2) アジャスター調節後はロックナットを固定する。[アジャスターが脱落して浴槽が傾き、思わぬ事故につながる恐れがあります。]

3) 電源コード及び、プラグの改造等は絶対に行わない。[感電や火災の恐れがあります。]

4)ぬれた手でプラグの抜き差しはしない。[感電の恐れがあります。]

2. 禁忌・禁止

1)湯をためたまま移動しない。[移動操作が困難になり、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、湯が溢れて故障の原因となります。]

2)カバーの下を持ったり、強く押さない。[破損する恐れがあります。]

3)移動時に浴槽をぶつけない。[破損する恐れがあります。]

4)点検時は電源を切る。[電源設備の点検や工事を行っているときには、機器の使用は避けて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。機器を破損する恐れがあります。]

3. 使用注意

1) 高温･多湿な環境での使用や保管はしない。[劣化や故障の原因になります。]

2) 浴室のように水がかかったり蒸気の立ち上るような多湿な場所での使用や保管はしない。[感電や機器の故障の原因になります。]

3) 電源電圧は AC100V±5%の範囲内で使用する。[範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。]

4) 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。[コードを引っ張るとコードが痛み、感電や火災の原因になります。]

4. 重要な基本的注意

1) 次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置かない、一緒に用いない。[人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。]

2) 浴槽内に貯めておく水位に注意。[浴槽内に貯めた水の水位が低すぎると、水位センサーが検知せず、ヒーターが作動しないため加温されません。]

5. 併用注意

1) 他の機器を併用する場合は、専門家の指示に従って下さい。

2) 付近にマイクロ波･電磁波等を発生する装置を置かない。[故障や誤作動を起こす恐れがあります。]

6. 過剰使用

50℃以上の湯を入れない。[浴槽表面の侵食や、機器の破損の原因になります。]

【保管方法及び有効期間等】

耐用期間

10 年（自己認証(当社データ)による）

【保守・点検に係る事項】

*・使用者による保守点検事項

	項目	点検内容	点検方法
電源投入前	①	障害物の有無	目視
	②	浴槽内の汚れ、または不要物	目視
	③	外カバーの外れ、ガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視および触って確認
	④	浴槽のガタつき	浴槽を前後左右に押して、浴槽が動かないことを確認
	⑤	電源コード、コンセントのほこり	目視
電源投入後	⑥	槽内湯温表示・治療時間表示の点灯	目視
	⑦	槽内湯温表示の表示内容確認	1.水位目印まで給湯する 2.手で浴槽のお湯が適温であること、表示と極端に違っていないことを確認
	⑧	噴流の作動	1.水位目印まで給湯する 2.治療開始/終了スイッチを押して、ノズルから噴流が吐出することを確認
	⑨	試運転中の異音	試運転を行い異音がないことを確認

・業者による保守点検事項

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めいたします。詳しくは別添の「保守点検のおすすめ」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

＜製造販売業者及び製造業者＞
酒井医療株式会社
東京都新宿区山吹町 358 番地 6
電話 ：03-5227-5770
FAX ：03-3260-0071

取扱説明書を必ずご参照ください。